

ドローンも仕事道具

半田工高で建設業講座

半田市の半田工業高、土木科二年生約四十校で十四、十五の両日、建設業の現状を学ぶ「ドローン」の操縦などを体験した。



ドローンを操縦する生徒たち＝半田市の半田工業高で

建設コンサルタント「愛河調査設計」（名古屋市）の山本成竜社長（三）が、人手不足をはじめ業界の抱える課題やハイテク化が進む現場作業の現状などを講義。その後、カメラが搭載されたドローンを生徒たちが動かした。

ドローンは、現場作業での測量などにも用いられるという。操縦を体験した生徒は「ドローンを実際に見るのは初めて。操作はすごく簡単」と話した。

講座には愛河調査設計のほか測量機器販売「トヨトミ」（名古屋市）も協力した。

（三宅千智）

2017.11.16 中日新聞知多版